

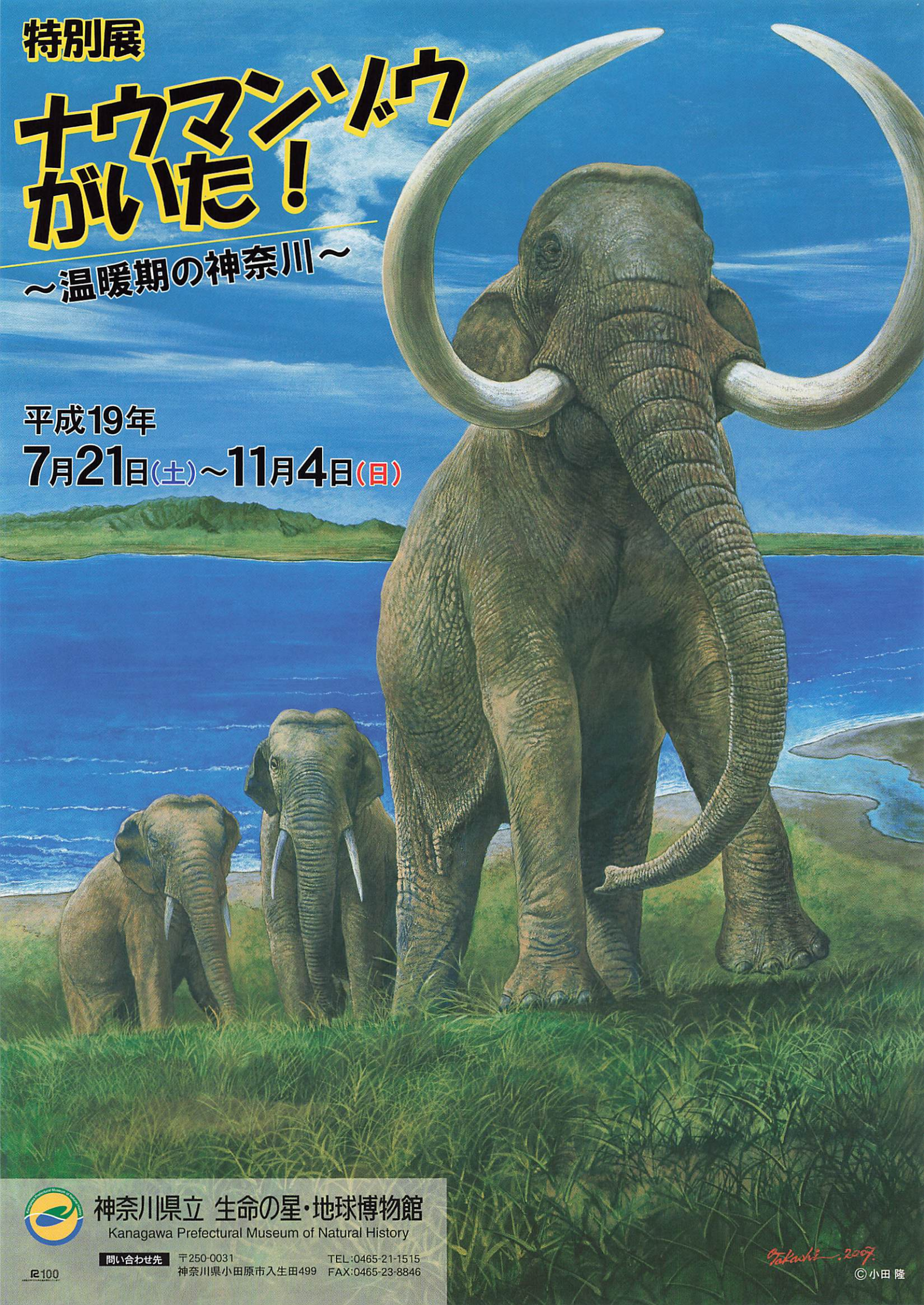
特別展

ナウマンが来た!

～温暖期の神奈川～

平成19年

7月21日(土)～11月4日(日)



神奈川県立 生命の星・地球博物館

Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

問い合わせ先

〒250-0031

TEL:0465-21-1515

神奈川県小田原市入生田499

FAX:0465-23-8846

100

Obata 2007

©小田 隆

特別展

ナウマンゾウ がいた!

～温暖期の神奈川～

平成19年
7月21日(土)
～
11月4日(日)

藤沢市渡内は、今は閑静な住宅街です。

そんな住宅街ができる以前、1頭のナウマンゾウの化石が発見されましたが、肩まで約2.5mの高さを持つ大きな個体であることがわかりました。ナウマンゾウは日本ではもっとも数多く発見されているゾウの化石で、県内では横浜市、横須賀市、平塚市、二宮町、小田原市などからも発見されています。

このナウマンゾウが生息していた時代は、地球規模で温暖化が始まる頃でした。海水面は上昇し、藤沢市はもちろんのこと、東京湾や相模湾に面した低地は海に没してしまい、現在の神奈川県約1/5の面積は海底だったと考えられます。海が内陸に広がっていたために、当時の記録が化石として現在の陸地に残されており、環境を知ることができます。

この特別展では、渡内のナウマンゾウとこのナウマンゾウが生きていた当時の様子を紹介します。

主な展示の紹介

ナウマンゾウ

ナウマンゾウの実物標本(藤沢市渡内産)

天岳院の話: ナウマンゾウの産出地点は、発見当時藤沢市渡内天岳院下と呼ばれていました。そのため「天岳院のナウマンゾウ」とも呼ばれています。発見当時、発掘時の様子を紹介します。

ゾウの体の話: ゾウは長い鼻、大きなからだといった特殊なからだを持っています。そんな特徴を現生のゾウ(アジアゾウとアフリカゾウ)から紹介します。

ナウマンゾウの話: 日本列島からもっとも数多く発見されているナウマンゾウはどんなゾウなのか、特徴や分布などを紹介します。

天岳院のナウマンゾウ: 天岳院産のナウマンゾウについて紹介します。

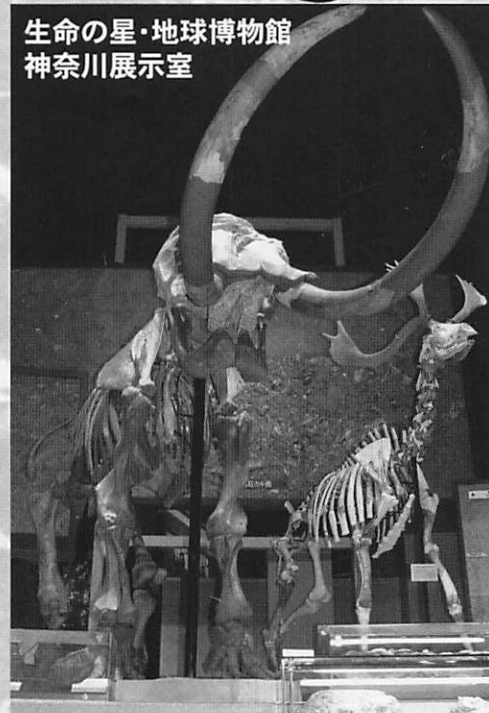
ナウマンゾウと背比べ: ナウマンゾウのオスとメスのシルエットと背比べ。

ゾウの進化の話: もっとも原始的なゾウの仲間の化石(レプリカ)や、大きいことで知られているはずなのに人のひざほどの小さなゾウなどゾウの進化を紹介します。

ナウマンゾウのくびの骨



生命の星・地球博物館 神奈川展示室



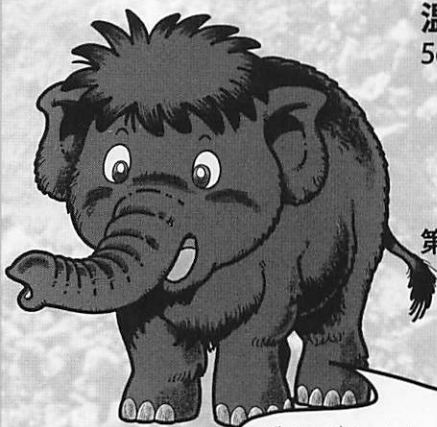
温暖期の神奈川

5eの話: 天岳院のナウマンゾウが生息していた時代は、下末吉期という地球全体が温暖な時期の始まりにあたり、この時期は MIS5e とも呼ばれています。当時の神奈川の海岸線の様子やそこに生息した生物を紹介します。

第四紀の話: ナウマンゾウが生息した時代は、地球の歴史の中では第四紀という時代に含まれています。

関連行事 8月26日(日)

サロン・ド・小田原
ナウマンゾウの話



マンモくん

ボクがあんないするよ。
見にきてね!



神奈川県立 生命の星・地球博物館

Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

<http://nh.kanagawa-museum.jp/index.html>

問い合わせ先

〒250-0031 神奈川県小田原市入生田499 TEL:0465-21-1515 FAX:0465-23-8846

9月以降の休館日

毎週月曜日
(9/17-9/24・10/8は開館)
9/11(火)
夏休み期間中(7/16~9/2)
は休まず開館。

開館時間

9時~16時30分
(入館は16時まで)

料金 特別展 常設展

65歳以上	無料
20歳以上	200円 510円
20歳未満・学生	100円 300円
高校生以下	無料



交通案内

・電車
箱根登山鉄道
(小田急線乗り入れ)
入生田駅下車徒歩3分

・お車で
国道1号線
「地球博物館前」交差点
(歩道橋に表示あり)入る

